



大分大学

教育福祉科学部

古城和敬 (こじょう かずのり)

所在地：大分市旦野原 700

http://www.ed.oita-u.ac.jp/

Profile — 古城和敬

大分大学教育福祉科学部教授。専門は教育社会心理学。著書は『教師と教育集団の心理』（共編，誠信書房），『あなたのこころを科学する Ver.3』（共編，北大路書房）など。



心理学系コースの概要

大分大学教育福祉科学部は、豊かな共生社会の実現をめざし「教育と福祉の融合」の理念のもとで教育・研究を行っています。これから、本学部の心理学系のコースについて紹介します。「心理学系」といったのは、本学部には心理学を学ぶコースが二つあるからです。一つは学校教育課程発達教育コース「教育心理学選修」（学生定員 10 名，専任教員 3 名），もう一つは人間福祉科学課程心理健康福祉コース「心理分野」（学生定員 15 名，専任教員 3 名）です。

前者は、「福祉の心」を備えた教員の養成を目的とするコースで、小学校一種の教員免許の取得に必要な単位の履修が卒業要件になります。学校の教員には、教科・保育の指導力とともに、子ども理解や生徒指導、学級経営の能力が求められます。「教育心理学選修」では、課程共通の福祉科目で人権への感受性や共生意識を身につけ、子どもの発達段階に応じた学びの過程や学級集団の影響過程を理解し、子ども一人ひとりを認めるコミュニケーション能力やいじめ・不登校等の問題に適切に対処できる能力を育成します。

後者の「心理分野」は、福祉との学際的な接点を重視しつつ、心理学全般について学修するコースです。心理学の知見・技能の修得によって人間理解を深め、人間関係や社会の諸問題を解決できる人

材を養成します。教員免許は取得しません。学生定員や教員数を無視していえば、一般の大学の心理学部や心理学科を想像すればよいと思います。九州の国立大学で心理学を学べるコースは限られています。その意味でも、本コースは地域の学生の心理学へのニーズの受け皿になっています。

心理学の開講科目

二つのコースのカリキュラムはコース設置の理念・目的に沿って十分な系統性が保障されています。両コースとも 1 年次は、入学後の学修に適應できるように、それぞれ『基礎ゼミ』を受講します。そこでは、大学の授業への心構え、学習の仕方、パソコンや図書館の活用法、プレゼンテーションの仕方など、基本的な態度と技術を修得します。そして、学生の大半が 2 年次までに『心理学概論』等の教養教育科目と学部共通科目を履修します。専門科目の大部分は 2 年次以降に履修します。

「教育心理学選修」は、教員免許取得のための教職課程を履修しながら、教育に関係する心理学の専門科目を学修します。1 年次に『心理学実験』など、2 年次に『心理教育統計法』『教授学習心理学』などを、3 年次に『教育社会心理学』『臨床心理学』や卒論に向けた『教育心理学研究法』を、4 年次には『卒業課題研究 I・II』などを履修します。『教育心理学』『発達心理学』『教育臨床学』は教

職課程の中で履修します。

「心理分野」では、『心理学実験』『心理学研究法』『心理教育統計法』などの方法論を各学年に配置し、1 年次に『心理学』『発達心理学』、2 年次に『社会心理学』『人格心理学』『教育心理学』『臨床心理学』など、3 年次に『認知心理学』『生涯発達心理学』『心理検査の理論と実際』『福祉の心理学』『医療心理学』『幼児・児童臨床心理』などを学修します。この間に集中講義で、『健康心理学』『環境心理学』も開講され、心理学の主だった科目を履修して 4 年次の『卒業課題研究』（通年）につなげます。

教員スタッフと指導体制

「教育心理学選修」の専任教員は、武内珠美教授（臨床心理学）と藤田敦准教授（教授学習心理学）と私です。「心理分野」は、前田明教授（発達心理学）、溝口剛准教授（臨床心理学）、そして河野伸子講師（臨床心理学・発達心理学）です（写真 1）。写真からも和気あいあいの雰囲気が伝わってくると思います。

二つのコースの日々の学生指導



写真 1 前列左から武内，前田，古城，後列左から河野，藤田，溝口の各教員

は、基本的にはそれぞれの専任教員が行いますが、心理学科目の開設や卒業論文指導については相互乗り入れをしています。たとえば心理学研究法関係の科目は、両方の学生が受講します。卒論指導も、心理学の専門分野に関する学生の興味・関心によって6名の教員のいずれかのゼミに所属します。

4年生の卒論発表会も、両方のコースが合同で開催します。1年生から3年生まで全学生が参加します。教員や大学院生を加えると総勢120名ほどになります。4年生は、ICTの機器を活用して自分の研究を順序立ててわかりやすく説明し、質疑応答することで、社会に出て役立つ実践的なプレゼンテーション能力を身につけます。大学での発表会の後、会場を市内ホテルに移して歓送会が開かれます(写真2)。さすがに120名のパーティはにぎやかで盛会です。



写真2 二つのコースの合同歓送会

学生の就職状況

「教育心理学選修」の卒業生の多くは小学校の教員です。別校種の教員免許も取得して、幼稚園、中学校、特別支援学校の教員になる人もいます。以前は教員採用の枠が狭いこともあって、官公庁や企業に就職する人もいましたが、最近は教員需要の高まりと学部教員の熱心な指導もあって、教員を志望する人が大部分です。大学院(特に臨床心理学コース)に進学する卒業生も毎年若干名います。平成24年度卒業見込みの学生10名の進路は、小学校教員5名、大

学院進学4名、その他1名です。

「心理分野」の卒業生は、一般企業、官公庁、福祉施設、そして大学院(臨床心理学コース)進学と多様です。平成22年度の卒業生には、難関の家庭裁判所調査官に合格した人もいます。24年度卒業見込みの学生15名の進路は、一般企業6名、医療福祉関係3名、大学院等進学4名、その他2名となっています。

心理学系の大学院

大学院のことも紹介します。大学院教育学研究科の中で心理学を学べるのは、学校教育専攻の中の「学校教育コース」と「臨床心理学コース」です。「学校教育コース」は、将来学校の教員になることを前提として、より高度な教育心理学・学校心理学・教育臨床心理学を学び、実践的な指導力を身につけ専修免許を取得します。現職の教員も自らの指導力を磨くために学んでいます。「臨床心理学コース」は、本大学院が臨床心理士養成の第1種指定を受けていることから、将来臨床心理士として教育・福祉・医療の現場で活躍する人材を養成します。大学院の心理学系の教員スタッフは、上記の6名とさらに7名の教員(障害児心理系4名、発達心理系2名、臨床心理系1名)計13名です。

「臨床心理学コース」修了生は、1年目にはほぼ100パーセント臨床心理士の試験に合格し、その後、県や市の心理職に採用される人が多くなってきました。事実、この3年間に修了生12名が県や市に正式採用されました。臨床心理士に対する公的な需要の高まりは、いじめ・不登校問題や発達障がいをもつ子どもへの対応など、現代的な教育課題への社会的ニーズを反映したものです。「不登校の子ども、いじめや虐待を受けた子ども

もたちに寄り添いたい」と、その方面で臨床実践を積んだ修了生たちが、いま光を浴びています。

キャンパスライフあれこれ

大分大学には旦野原、王子、および由布の三つのキャンパスがあります。旦野原と王子のキャンパスがある大分市は人口48万人の中都市です。大分県は別府や湯布院に代表される温泉県として有名ですが、大分市も温泉が出ます。県外から来た学生や教職員が県内の温泉巡りをしていることをよく耳にします。温泉を地獄と言いますが、温泉三昧と日々の生活を掛けて「毎日が地獄です!」とプリントしたTシャツがブームになりました。

旦野原キャンパスは大分市南部の緑に囲まれた広大なキャンパスで、本学部と経済学部、工学部や大学院があります。本学部の学生で自宅外学生の多くは、キャンパス周辺の学生用アパートに住んでいます。キャンパス内にはホテルのシングルルームのような間取りの新しい学生寮(290名収容)やコンビニもあります。自宅生や市内中心部に住む学生は電車・バスやバイクで、また2年生以上で遠距離の場合は自家用車で通学しています。課外活動も活発で、旦野原キャンパスには49の体育系・文化系サークルがあります。

最後に、心理学を学ぼうとする高校生の皆さん、心理学を学ぶことは自己を知り他者を知ること、そしてそれを自分なりに社会に役立てることです。物質的にも豊かで成熟した社会になったといわれていますが、そうした時代だからこそ、自己を深く見つめる精神活動が求められています。本学部の二つのコースは、心理学を学ぼうとする皆さんのニーズを必ず満たすことができるかと確信しています。